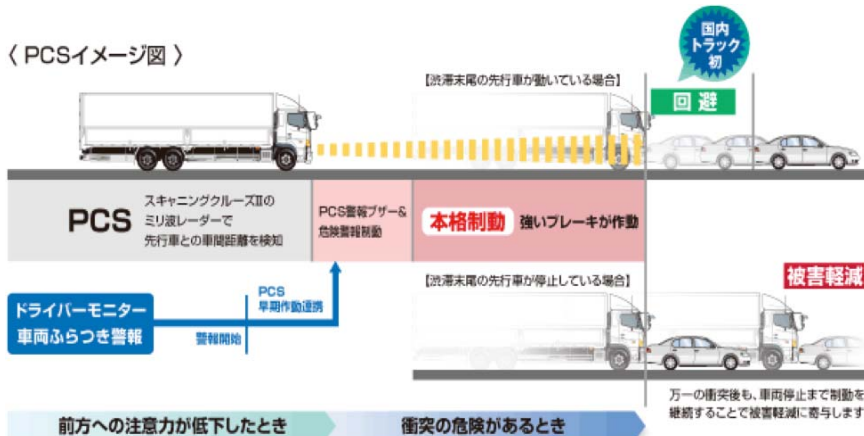


自動ブレーキ搭載車両が500台を越えました！

平成26年11月より大型トラックを対象に、“トラックの自動ブレーキ”装着が義務化されました。当社では平成22年よりいち早く導入を進めた結果、保有車両の約半数以上の500台に自動ブレーキの装着が完了しました。その結果、重大事故が激減し対人・対物保険の優良割引率も62%まで安くなりました。当社は安全を最優先の取り組みとし、お客様の大切な荷物を守るのももちろん、乗務員の命を守り、安心して運行できる環境を整え、万が一の事故の被害を最小限に抑えるための投資を積極的に行います。

〈PCSイメージ図〉

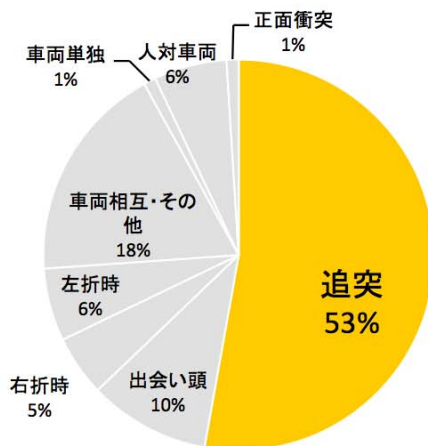


- ミリ波レーダーで先行車との車間距離を検知
- 警報ブザーと危険警報でドライバーに知らせる
- 衝突の危険がある場合、強いブレーキが作動し衝突回避
- 万が一衝突した場合も、車両停止まで制動を継続し、先行車の衝突被害を軽減

日野自動車 日野プロフィアPCS詳細より

事業用トラックの事故半数は「追突」です！

大型トラックが追突事故を起こした場合、乗用車に比べ死亡事故になる確率は高くなります。万が一事故が起ってしまった場合に、被害を最小限におさえるためにも装備の充実は不可欠です。



平成25年 全日本トラック協会統計より

自動ブレーキの主な機能

『衝突被害軽減機能』

- 追突の恐れがあると警報やブレーキ作動で注意。危険が高まるとより強力に制動。
- 衝突後も制動を継続し被害を軽減。
- ストップランプ、ハザードランプの点滅で2次被害防止を支援。

『衝突回避支援機能』

- 前方の低速走行の先行車を検知し、追突の恐れがあると警報やブレーキ作動で注意。より危険が高まると早いタイミングで強いブレーキが作動。

『警報システムなどとの連携』

- ドライバーの顔をとらえ前方不注意状態へ警報を出す「ドライバーモニター」を標準装備。
- 「車両ふらつき警報」や「スキャンングルーズII」も標準装備。
- 正面衝突を防止する対向車検知機能を搭載。

対人対物保険の割引率

2013年⇒15%

2014年⇒33%

2015年⇒62%

